

ロマン派音楽研究会「室内楽シリーズⅡ」 「第2回オーケストラ定期演奏会」への活動支援

団体について

多様な思想や背景を持つ作曲家が多くいるロマン派の時代を、室内楽からオーケストラまで多岐にわたって研究・演奏すること、また歴史的背景などについて理解したことをプログラムノートなどの形でアウトプットすることを目的としています。



活動を終えて

室内楽シリーズは計2回開催し、ロシア編・ドイツ編として企画を行い、2公演とも無事に成功させました。

アニバーサリーの作曲家や一般にあまり知られていない作曲家を中心に、多様な編成で全学年が参加しました。

プログラムノートにも力を入れ、演奏する部員・しない部員が共に文章を考え、内容の充実したものに仕上げた結果、アンケートでも好評を得ました。

また、美術学部デザイン科専攻生と協力してプログラムやポスターを制作し、京都コンサートホールとのコラボ企画も来年度実施に向けて順調に進行しています。

本活動を通して、限られた時間の中で質の高いものを作るには、楽譜という一次資料への理解や本番当日の動きを含めた準備が重要であることを実感しました。これらの学びを、来年度のオーケストラ定期演奏会にも生かしていきたいと考えています。



のれん百人衆寄付者さまへ

のれん百人衆寄付者のみなさまに、多大なるご支援いただきましたこと、大変ありがとうございました。活動実績もまだまだ乏しい当団体ですが、のれん百人衆の皆さまにも演奏会に足を運んでくださるお客様にもさらに良いものをお届けできるよう、ますます精進して参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

京都市立芸術大学古典派音楽研究会 「第9回定期演奏会」への活動支援

団体について

古典派音楽研究会はハイドンやモーツァルト、ベートーヴェン等のウィーン楽派を中心とした古典派音楽の歴史的演奏法を研究し、演奏する団体です。作曲家が生きた古典派時代の奏法や表現を学んだ私たち演奏者と、演奏会にお越しくださったお客様が共に古典派音楽の新たな面白さ、興味深さに出会って魅力を知ってもらうことを実施目的としています。また、京都文化博物館という歴史ある場所で演奏することで、古典派音楽の世界観をより自然な形で感じていただけるようにしています。

活動を終えて

例年の定期演奏会では、モダン楽器を使用して演奏していましたが、今回はモダン楽器に加え、ナチュラルホルン、ナチュラルトランペット、バロックティンパニ、チェンバロと古楽器を使用した演奏会をコンセプトとしてプログラムを組みました。

初めての挑戦のため多くの方々にご協力をいただきました。顧問である村上哲教授をはじめ、チェンバロを上野真教授、音楽教務ご担当者様、運搬やチェンバロ梱包等を外村雄一郎先生にご協力をいただきました。

先に述べました通り、今回の演奏会では古楽器を使用した演奏会に取り組みました。普段の授業や演奏ではモダン楽器を中心に組み組んでいるので慣れない演奏方法、また実際に当時の楽器を用いたことによって実際の演奏に近づけた音色感などを学ぶことができました。



のれん百人衆寄付者さまへ

この度は古典派音楽研究会にご支援いただき誠にありがとうございました。のれん百人衆様のご協力により、新たに古楽器を用いた演奏会を開催することができました。また100名以上のお客様と古典派音楽を共有し、我々のモットーである"おもろいやん"に出会うことができました。これもひとえに、のれん百人衆様のご協力によるものです。ありがとうございました。

京都市立芸術大学トランペット専攻生による 「第20回演奏会」への活動支援

団体について

トランペット専攻生は毎年年度末に1年の集大成として演奏会を開催しております。トランペットアンサンブルでは普段では使うことのない技術を求められ、昨年初めてトランペットアンサンブルを演奏しましたが、普段では求められない役割に大変苦戦しました。

しかし、本番に向けての練習を通して自分の課題を克服することができ、能力の向上を実感しました。また、自主公演を開催するにあたっての手順を知ることや、どのような方が関わってくださるのかを知ることが、今後演奏活動を長く続けていく上で、大いに役立ちました。

活動を終えて

今年度の活動の結果として、まず一年の集大成として日頃お世話になっている皆様に練習の成果を披露することができました。

また自分たち一人ひとりが自身の課題を見つめ直し、短所を克服する機会となりました。さらに本番に向けた準備を進める中で、自主公演の流れや手順を具体的に理解するとともに、ご協力いただいた方々との関わりを深めることができました。

加えて、新たに編曲された作品を演奏することで、トランペットアンサンブルのレパートリーの広がりを実感しました。



のれん百人衆寄付者さまへ

この度は我々トランペット専攻生にご支援賜り、誠にありがとうございました。

学生のみでは決して叶うことのない演奏会の開催が、のれん百人衆寄付者の皆様のおかげで無事に開催することができました。心より感謝申し上げます。

今後より良い音楽をお届けできるよう精進してまいります。改めましてこの度はご支援賜り誠にありがとうございました。

京都市立芸術大学・大学院音楽学部 管・打楽器専攻 トロンボーン専攻「THE BONES 2026」への活動支援

団体について

私たちは京都市立芸術大学・大学院音楽学部 管・打楽器専攻でトロンボーンを専攻しています。それぞれが個々の目標や音楽観を持ち、日々鍛錬に励んでいます。

活動を終えて

今回の自主公演では、企画立案から広報、運営、演奏に至るまでを学生主体で担うことで、演奏会制作の一連の流れを実践的に経験することができました。各自が役割を持ち責任を果たす中で、舞台を成立させるために必要な協働力や計画性を身につけることができ、申請時に掲げた目的を達成することができたと考えます。また、アンサンブル演奏を通してトロンボーンの多様な魅力を来場者に伝えるとともに、学外の方々との交流も生まれ、音楽活動の広がりを実感しました。

限られた時間や条件の中で円滑に準備を進めるためには、情報共有の重要性や柔軟な対応力が不可欠であることを新たに学びました。

今回の経験を通して、音楽は演奏だけでなく多くの準備と人との関わりによって成り立っていることを実感し、今後の活動に活かしていきたいと考えています。



のれん百人衆寄付者さまへ

この度は、私たちの自主公演の趣旨にご理解を賜り、ご支援いただきましたこと、心より御礼申し上げます。皆様のお力添えにより、無事に公演を終えることができました。本番では、これまで積み重ねてきた学びと成果を舞台上で形にし、多くの方々にご来場いただけたことを大変嬉しく感じております。今回の経験を今後の音楽活動に活かし、より一層精進してまいります。今後とも変わらぬご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

京都市立芸術大学ユーフォニアム・チューバ専攻による アンサンブル演奏会「Low Notes vol.5」への活動支援

団体について

京都市立芸術大学ユーフォニアム・チューバ専攻は、現在、学部生6名、大学院生2名の計8名で活動しております。それぞれが日頃より授業や楽器の練習に励んでおり、大変活気のある専攻です。

「ユーフォニアム・チューバアンサンブル」では様々な作品に取り組み、一週間に一度担当教員のレッスンを受けることでアンサンブル力を高め、演奏の幅を広げています。

活動を終えて

本演奏会『Low Notes vol.5』では、「ユーフォニアム・チューバの魅力幅広く伝える」という目的のもと、多くのお客様にご来場いただき、楽器の持つ豊かな響きや表現の幅を体感していただくことができました。

特に「青春」をテーマにしたプログラムは、中高生をはじめ幅広い世代に共感を得ることができました。

来場者アンケートでは、「青春っていいなー。」「娘も皆さんのように楽しく、大学生になっても吹奏楽を続けて欲しいなと思いました。」といったご感想も寄せられ、本演奏会のテーマである「青春」が世代を超えて共感を呼び、音楽の楽しさや継続することの魅力伝える機会となったことを実感しました。

また、専攻生が主体となり企画・運営・広報まで担ったことで、演奏技術の向上に加え、演奏会を作り上げる過程の大変さや達成感を学ぶことができました。今回の経験を通して、音楽家として必要な主体性や協働力を大きく養うことができました。

京都市立芸術大学
ユーフォニアム・チューバ専攻による
アンサンブル演奏会

Low Notes vol.5

ロー・ノーツ

2026
3.6 (金) 開場 18:30 開演 19:00

高槻城公園芸術文化劇場
太田ファルマテックホール

プログラム
第一部 Classical Stage
プロウエスの嵐 / 田辺直樹
吹奏楽のための第一組曲 / G. 瓦ルター
第二部 Pops Stage
青春の輝き / カーペンターズ
シンガ・シンガ・シンガ / V.プリヤ

出演者
ユーフォニアム
宮崎幸也 新村慶海 西浦誠
西野隆哉 山中未歩
チューバ
関田和英 光風菜々 楠山玲一朗

打楽器
前田大

入場料
観覧券（中学生以下は無料）
予約制・自由席
一般 1000円
高校生以下 800円
※全日5000円席



のれん百人衆寄付者さまへ

この度は「のれん百人衆」の皆様より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

皆様のご支援のおかげで、本演奏会を無事に開催し、多くのお客様にユーフォニアム・チューバの魅力を届けることができました。今回の経験を今後の活動にも活かし、より良い音楽を届けられるよう一層精進してまいります。

心より御礼申し上げます。

京都市立芸術大学打楽器専攻生によるアンサンブルコンサート 「The Percussion Vol.16」への活動支援

団体について

「管・打楽合奏」の総括として年度末にアンサンブル演奏会を開催するとともに、学内での多様な演奏会を学生自主運営のコンサートシリーズ「The Percussion」として展開しています。

活動を終えて

今回の活動を通して、達成した目的と新たな学びを報告します。

今回、1名あたり3~4曲出演する上で、練習時間の配分、各パート譜・総譜の読み込みを自身で処理し、合わせ練習の際には、リーダーを中心に作品に関する情報共有、周りの音との関連性などを理解した上で演奏に臨み、アンサンブルに必要な能力を育むことができました。

また、来場者数は150名近くにのぼり、近年の同シリーズ演奏会の中でも上位に匹敵する来場者数となりました。音楽業界の関係者から地域住民、他府県の中高生など、幅広い客層を対象とする演奏会となりました。

さらに、構成員全員に事務的役割を振り分け、外部との連絡や会計、SNS運用などを実行しました。実際、円滑に進まなかった事柄もあり、進行が滞った時期もありましたが、相互監査と計画性の重要性に改めて気づきました。日頃演奏で参加する現場の裏側には多くのプロフェッショナルに支えられて成り立っているものだと実感できました。



のれん百人衆寄付者さまへ

この度は、本公演にご支援を賜りまして誠にありがとうございます。おかげさまで無事開催に至り、打楽器アンサンブル編曲や日本初演など、様々な挑戦ができました。今回、近年の記録において、上位に匹敵するほどの幅広い客層と来場者数に恵まれました。フライヤーや声掛けに加え、SNSでの広報も活用し、本公演の周知に努めました。

今後ともThe Percussionシリーズ及び、京都市立芸術大学 打楽器専攻生の活動を温かく見守っていただけますと幸いです。

書道部ワークショップ「墨を磨って、筆をとろう」への活動支援

企画の概要

畳の上で正座をし、硯で墨を磨り筆を持ち絵や書を描くという現代人にはとても特殊な行為から日本文化の継承に対する意義を多くの人と共有し、発信していきます。

2024年に開催したワークショップでは、地域の方々をターゲットとしましたが、今回はその活動内容を大学周辺地域から京都市の外へと広げていきたいと考え、そこで熊野筆の産地である広島県安芸郡熊野町の筆の里工房と広島市立大学に焦点を当てました。それぞれの地域の書道に関わる特産品（熊野筆・古梅園の墨）を持ち寄り地域面の特性を活かした学生同士の交流を目的としています。

活動を終えて

広島市立大学の学生と共に墨について考え、オンラインで意見交換をすることで、新たな発見と発想を得ることができました。奈良の古梅園の墨「紅花墨三ツ星」、「紺碧」から青墨・茶墨の色や滲みの違いをお互いに知り、オンラインでそれぞれの性質についての話し合いを設け、広島での展示用の作品制作へ応用しました。

筆の里工房でのワークショップは「鳥獣戯画」の模写をメインに行いましたが、実際は「宝珠」を描くことが大人には人気であり、子供たちとは墨と筆による「絵しりとり」で出展者も参加者も盛り上がるのが出来ました。大学の中から出た外部で活動し、また筆に特化した施設で展示とワークショップを行ったことで、普段は交流出来ない地域の老若男女の方々との交流を盛んにすることができました。



のれん百人衆寄付者さまへ

この度はご支援いただき誠にありがとうございました。ご支援のおかげで、無事広島での展示とワークショップを実施することができました。今回の企画は熊野筆を専門に扱う筆の里工房で行ったこと、他大学の芸術系の学生さんと墨について意見交換をしたことにより前回のワークショップより多層的で老若男女に親しんでいただけるものとなりました。皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、引き続き活動を続けていきたいと思っております。

美術研究科保存修復専攻への活動支援

文化財の保存修復に関する人材育成に活用させていただきました。令和7年度は以下の活動を行いました。

1. 無鄰菴障壁画（東壁）の修理

昨年度の作業に引き続いて補彩等を行い、修理を完了しました。修理にあわせて実施した調査の成果について学生が中心となってまとめました。

2. 無鄰菴障壁画（西壁）の修理

5月に無鄰菴洋館二階において学生が絵具養生作業を行い、その後、障壁画を大学へ搬入し、大学にて調査および修理を進めました。

これらの活動を通じて、学生が実際の修理現場に携わりながら、調査・修理に関する知識と技術を実践的に学ぶ機会となりました。



無鄰菴障壁画の修理作業

「アールスペース k.kaneshiro」への運営支援

アールスペースk.kaneshiroの運営に活用させていただきました。令和7年度は、前年度に開催した茶会をテーマとした「徒歩にて」展から始まり、5月に茶会をした大原を散策するプログラムを行い、参加した学生のスケッチも併せて展示しました。

9月からの展覧会では、前年度に引き続き《源平合戦図屏風》左隻を展示しました。さらに、油画専攻の学生による解説漫画や、保存修復専攻の大学院生が再現を試みた那須与一の扇も紹介しました。

会期中に2回行った、伝音ライブとのコラボプログラムでは、能楽や平家琵琶を解説付で上演し、作品鑑賞と共に、一般の方々にも楽しんでいただきました。

3月からは浮田克躬《丘の工場》に描かれた風景を辿る展覧会を開催しております。

企画・展示・調査・アーカイブ(非公開)・パンフレットやリーフレット作成からHP更新まで、本学教員の指導のもと学生が行い、本年度も芸大生の個性溢れた展覧会を開催することができました。



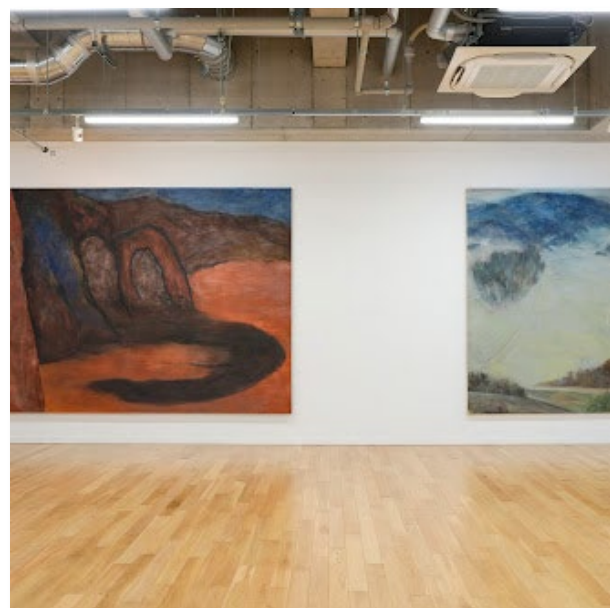
美術研究科日本画専攻への活動支援

修士課程の学生は、それぞれの表現をさらに深めるため、日々研究制作活動に取り組んでおります。学部時代と比べ、より専門的かつ高度な研究を進める段階にあるため、作品制作に必要な画材も質・量ともに高価なものが求められ結果として学生個々の経済的負担が大きくなるのが実情です。

そのような中、このたびのご支援におきましては、こうした状況をご理解いただき、美術研究科日本画専攻の一回生および二回生を対象に、作品制作に必要な画材費の一部をご補助いただくご提案を賜りました。学生にとっては制作環境を整える大きな支えとなり、安心して研究に打ち込むことができました。

その成果として、2月に開催いたしました進級・修了作品展において、各学生がそれぞれの研究成果を作品として発表することができました。とりわけ修士課程二回生にとっては、学生生活の集大成となる最後の発表の場であり、渾身の力を込めた大作を披露することができましたことは、ひとえに本ご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



美術学部・美術研究科「作品展」への開催支援

美術学部1回生から美術研究科修士課程の学生約700名の学生が出品する、まさに未来の芸術家の作品が集結する大規模な美術展覧会です。令和8年2月7日から11日まで、本学キャンパス内で開催しました。

学生たちの将来的活躍を期待する重要な展示であるとともに、そこに至るまでの研究・学習の道程を示す教育的展示にもなっており、この作品展を通じて学生たちは大きな成長を見せてくれます。



第179回定期演奏会 大学院オペラ公演 G.ドニゼッティ「愛の妙薬」への開催支援

京都プロジェクト 2025 コンチートシリーズ

愛の妙薬
G. Donizetti
"L'elisir d'amore"

指揮 **阪 哲朗** 音楽学専攻教授
演出 **久恒 秀典**
出演 京都市立芸術大学音楽学専攻研究科
修士課程 声楽専攻生 他
管弦楽 京都市立芸術大学
音楽学部・大学院管弦楽団

2026. **2.19** 木
18:00開演 (17:00開場)
入場料 **2,500**円
(全席指定)
※観覧料金の納入場は別途お知らせいたします。

会場 京都市立芸術大学
堀場信吉記念ホール
京都市下京区下之町57-1

2026年1月7日(水) 午前10時より チケット販売開始!

WEBで購入 <https://www.kcuu.ac.jp/ticket/>
購入方法 **窓口販売** *支払は現金のみ対応
京都府立芸術大学音楽学専攻 共創プラザ・連携推進課
京都市下京区下之町57-1 1階 / TEL:075-585-2006 営業:平日10:00~17:15

※本学が主催するイベントに関するお問い合わせは、本学広報課までお願いいたします。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

京都市立芸術大学 京都市立芸術大学音楽学専攻教育委員会
KYOBUI TERRACE 京都市立芸術大学 Kyuu City University of Arts
TEL:075-585-2006 (FAX:075-585-2007) e-mail: public@kcuu.ac.jp <https://www.kcuu.ac.jp/>



令和8年2月19日(木)、堀場信吉記念ホールにて、大学院オペラ公演を開催いたしました。演目はG.ドニゼッティの《愛の妙薬》です。ユーモアとロマンにあふれた名作オペラを、修士課程の音楽専攻生を中心に、音楽学部および大学院音楽研究科が一体となって創り上げました。

歌唱・演奏にとどまらず、舞台装置や小道具の制作まで学生自身が担い、日頃の学びの成果を舞台上で存分に発揮することができました。

第54回卒業演奏会への開催支援

京都プロジェクト 2026 コンチートシリーズ

京都市立芸術大学音楽学部
令和7年度(第55回)
卒業演奏会
2026. **3.20** 金 祝
午後2時開演 (午後1時開場)

出演 京都市立芸術大学音楽学部
4回生の成績優秀者
入場無料(全席指定)
事前申込制

2026年2月17日(火) 午前10時~受付開始(先着順)

応募方法
<https://www.kcuu.ac.jp/ticket/>

会場 京都市立芸術大学 堀場信吉記念ホール 京都市下京区下之町57-1

京都市立芸術大学 京都市立芸術大学音楽学専攻教育委員会
TEL:075-585-2006 (FAX:075-585-2007) e-mail: public@kcuu.ac.jp <https://www.kcuu.ac.jp/>



令和8年3月20日(金・祝)、堀場信吉記念ホールにて、音楽学部令和7年度(第55回)卒業演奏会を開催いたしました。各専攻から選ばれた4回生の成績優秀者が、独奏・独唱・作曲作品を披露し、これまでの学びの成果を発表しました。学生一人ひとりが大学で培った表現力と感性を存分に発揮し、会場は温かい拍手に包まれました。本学の音楽教育の集大成を示す、充実した演奏会となりました。

令和7年度 のれん百人衆成果報告会

美術学部および大学院修士課程に在籍する全学生の作品を展示する「作品展」の一部を、見学ツアーとして案内いたしました。ツアー終了後には、立食形式の交流会を開催し、作品や日頃の活動について直接お話しいただける機会を設けました。日頃よりご支援くださっている企業の皆さまと学生が直接言葉を交わす、貴重な機会となりました。

開催日時:令和8年2月10日(火) 16時30分～19時

会場:京都市立芸術大学内食堂(E棟1階)

参加者:9社/22名

学生発表:(代表スピーチ/2団体)

・Not arms But arts

・京芸ファッションショー

(ブース展示)

・常磐津部・アートスペース.kaneshiro





KYOGEI
TERRACE

テラスのような大学・京都芸大

京都市立芸術大学

Kyoto City University of Arts

2026